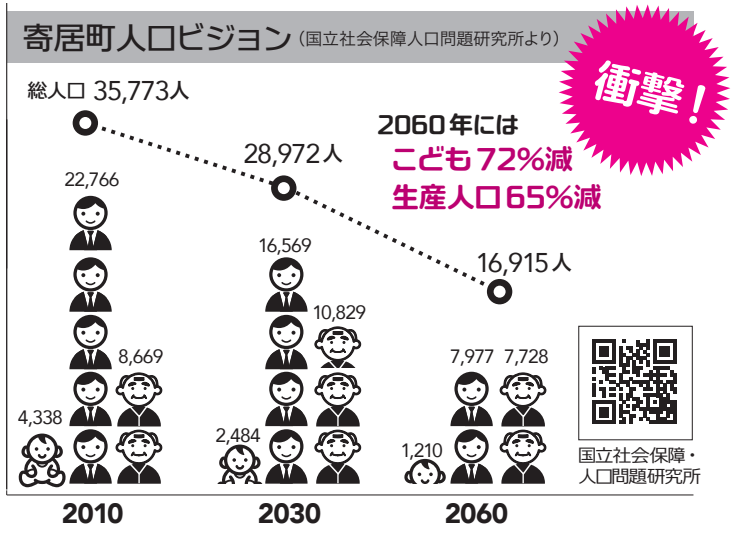


# その後、議会はどう動いたか 町民意見を論議し即！反映

議会が、意見交換会をこのテーマにした理由

## ①なぜ「子育て支援・若者支援」なのか

国立社会保障人口問題研究所の予測によれば、寄居町では2010～60年の50年間で、子ども（0～14歳）の数は4338人から1210人へ72%減。同じく現役世代（15～64歳）も2万2766人から7977人と65%減。一方、65歳以上の高齢者は、8669人から7728人と11%減にとどまるとの予測です。  
高齢者数は横ばい、子どもや現役世代が約70%減る町を「持続可能なまち」と呼べるでしょうか。



子育て支援・若者支援策	寄居町	近隣自治体					
		A	B	C	D	E	F
子ども医療費支給(18歳年度末まで)	●	●	●				
第3子以後の保育料無料化	●		●				●
子育て支援交付金	●		●				●
学校給食費補助	●			●			
新婚家庭家賃補助	●						
定住促進補助	●						
放課後児童クラブ	●	●	●	●	●	●	●
放課後塾(業者委託)	●		●				
英検対策(受検料全額補助)	●		●			●	
小学校英語塾	●						●
教員育成	●		●				
部活動支援	●	●	●	●	●	●	●
中学生海外相互交流	●						

## ②実は近隣自治体を上回る町の支援策

上表をご覧ください。子ども医療費支給(18歳年度末まで)や第3子以後の保育料無料化をはじめ、学校給食費補助、新婚家庭家賃補助、放課後塾、小学校英語塾、中学生海外相互交流など13項目について、近隣の小川町・長瀬町・美里町・嵐山町・熊谷市・深谷市と寄居町を比較しました。  
すでに寄居町では、近隣市町を上回る手厚い支援が行われていることがうかがえます。



## ③議員全員協議会で徹底討議！ “30年度中に一定の結論”

常任委員会の研究テーマに

総務経済常任委員会 [研究テーマ] 公共施設(学校・公園)

折原運動公園内に大型遊具設置予定

今後の町の人口(年齢別)推移等を考えて、公共施設の有効活用を検討します。

文教厚生常任委員会 [研究テーマ] 放課後児童クラブ

放課後児童クラブの需要は高まる一方

施設のあり方と支援員等の不足が喫緊の課題。数値を含めた徹底的な現状把握を行います。

## 議会の「大きな使命」



議会基本条例を制定した理由に「開かれた議会の追求」と「町民参加の推進」があります。会議の公開も進んでおり、間もなく議会の録画中継も始まります。  
年2回の開催を決定した議会報告会と意見交換会も、その大きな役割を担うものと位置付けています。

多くの町民が参加し、意見を述べることで、そして、その意見を議会がいち早く討議し、活かすこと。  
この一連のサイクルは、町民と議会の協働なくしては成り立ちません。  
町政は、行政と議会だけでつくるものではなく、町民の意思が作り上げていくものと考えます。そして、その環境を整えていくことが、現在の寄居町議会に課せられた大きな使命(ミッション)であると認識しています。



子育てへの金銭的支援/給食費無料化/環境整備/若い世代の働く場の確保/情報発信/通学路の整備/公園等の整備/教育の振興/学力向上のための工夫/施設の充実 ほか

## “町政の主役は町民”